

神奈川県産学官連携協議会の取り組みが加速

17

地理空間情報活用推進セミナー

神奈川県産学官連携協議会とNPO法人全国GIS技術研究会は海老名市にて「地理空間情報活用推進セミナー」を開催し、県内の行政関係者や事業者など112名の参加を得て、具体的な活動が順調にスタートした。冒頭、国土交通省国土地理院の宇根寛関東地方測量部長が挨拶。「2011年1月14日に神奈川県内の産学官が地理空間情報に係る課題認識と情報共有を図り、地理空間情報の効果的整備・更新・活用を推進する目的で同協議会が設立され、活動に入った」と語った。



基調講演

同協議会会長で横浜国立大学大学院環境情報研究院佐土原聡教授は、地球環境問題・大規模災害への対処といった課題に対して統合解が提示できる技術革新が求められており、その鍵は地理空間情報の活用による関係者間での協働にあるとし、多くの具体的アプローチを示した。続いて国土地理院の田中庸夫関東地方測量部次長が、地方公共団体での地理空間情報活用の現状とレベル2500の基盤地図情報と電子国土Webシステムを簡単に連動して公開できる事例を紹介した。



技術講演

寒川町都市建設部都市計画課米山紀一主査が、11月1日より寒川町が開設した都市計画情報を電子国土Webで構築した「閲覧システム」を実演を交えて説明

し、情報の確認のために来庁する必要がなくなる事で住民サービスの向上と職員の業務効率化に期待できると発表した。

続いて、関東甲信越東海GIS技術研究会技術委員会橋元宣明リーダーが製品仕様書の必要性、作り方、考え方の事例を紹介しながら、受講者に分かりやすく説明した。

最後に、主催者を代表して関東甲信越東海GIS技術研究会増澤延男会長が、NPO法人全国GIS技術研究会は全国6ブロックで活動している組織であり、国土地理院が展開する地区連携協議会の活動を全面的に支援してGISの普及促進に貢献したいと挨拶して会を終了した。



寒川町の都市計画情報提供サービスサイト
<http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/life-part/machi/keikaku/toshiservice.html>